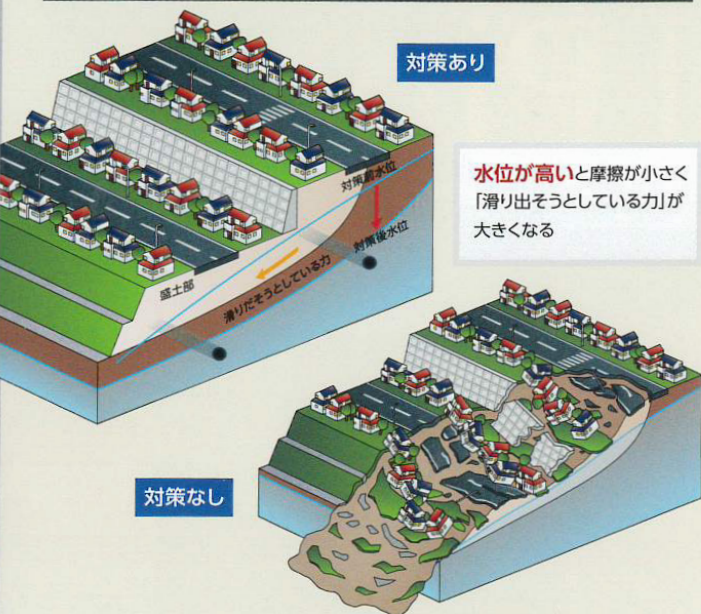


レジェンドパイプ工法とは

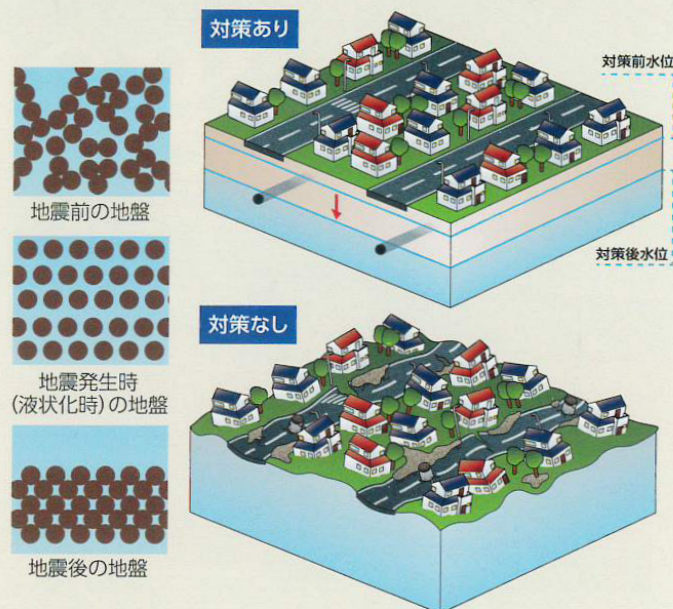
地すべりや液状化現象を抑制する最も効果的な方法は地下水位を下げ、水による影響を排除するのが効果的です。レジェンドパイプ工法は推進工法により深い箇所にスピーディに排水パイプを設置し、地下水位を下げ、地すべり、液状化現象を抑制します。

地すべり対策



盛土造成地は、盛土自体の重さで「滑り出そうとしている力」に対して摩擦などの「抵抗する力」が弱くなると滑動崩落を起こします。レジェンドパイプ工法は大規模盛土造成地等の人工地盤の地下水の排水に効果を発揮します。

液状化対策



ゆるく堆積した砂の地盤に強い地震動が加わると地層自体が液体状になります。レジェンドパイプ工法は、推進工法により深い位置へ排水パイプをスピーディに設置することで地下水位を効率的に下げることができます。

レジェンドパイプ工法の特徴

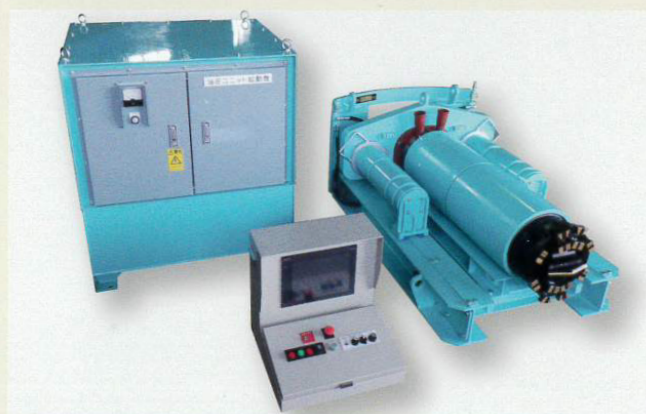
MPDパイプ



MPDパイプ(310型) 素材: ポリプロピレン製

樹脂製有孔管に比べ、その構造から開孔率、空隙率が大きく、集水性能に優れています。点で集水する有孔管に比べ、面で集水する為フィルター部の目詰まり現象が起きにくく、洗浄によるメンテナンスも容易です。

推進システム



レジェンドパイプ推進システム 掘進機: LEG350型

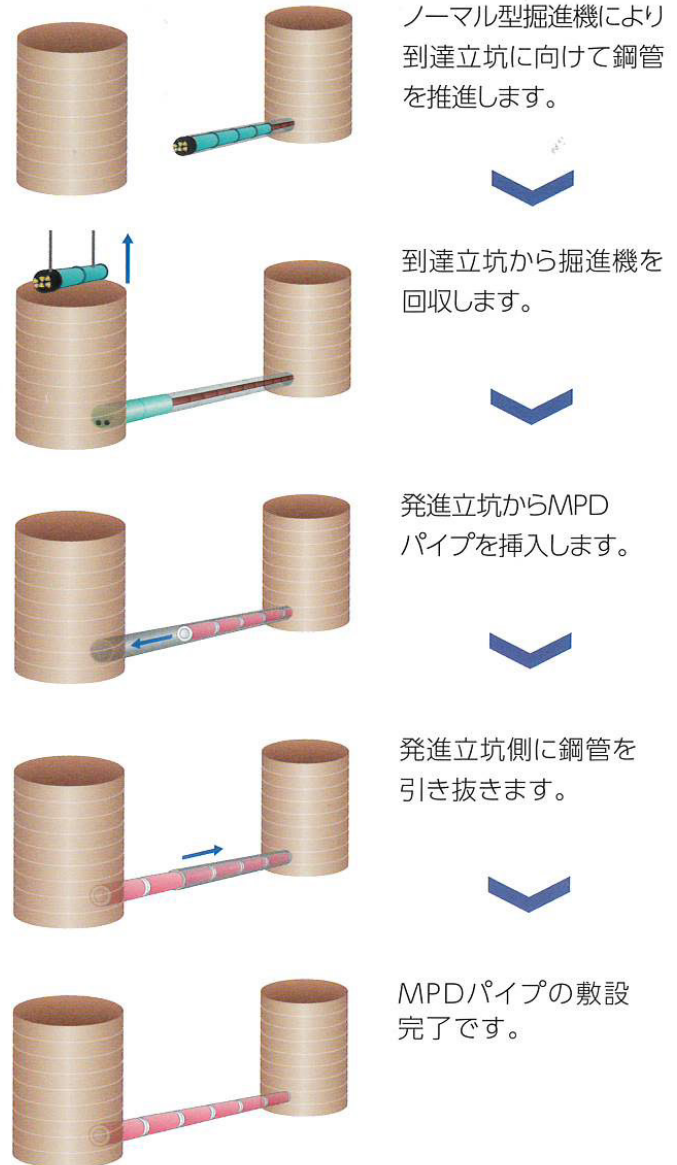
φ350の鋼管を推進する掘進機及び元押しジャッキのシステムです。排土方式は泥水方式を採用。面板は礫用、普通土用があり様々な土質に対応できます。また、リターン機は掘進機を発進立坑まで引き戻すことができるので到達立坑が不要です。

作業手順

リターン推進



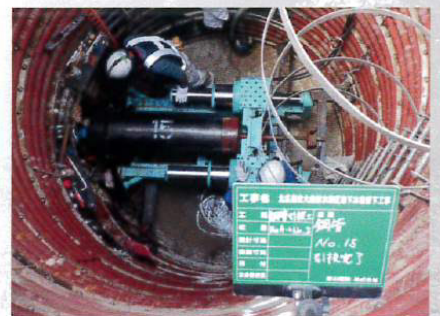
ノーマル推進



鋼管推進



MPDパイプ挿入



鋼管引抜



排土状況



泥水プラント



排水状況